

自動認識の世界をより身近に **Flags**

vol.109 2014
6月号

『再び需要が増えてきたPOP端末』

一昔前、生産現場での“自動化”や“IT化”がキーワードとして注目されたのと同時にPOP(=生産時点情報管理)と言う概念が生まれました。現場の生の情報を収集する目的でPOPシステムの導入が必須となり、POP端末として現場用の情報端末が広く採用されました。その後LANの普及により主役の座をパソコンやPDA端末に譲り渡してきましたが、最近このPOP端末の需要が再び増え始めてきています。

今月はこのPOPシステムの再評価を中心に、当社の新製品POP端末をご紹介します。

POPシステムとは

POP(Point of Production)システムは、“生産時点情報管理”を行いながら様々な生産現場のデータを「見える化」していくシステムです。

単に作業者の生産の着手・終了時刻や出来高を管理する作業実績収集システムとは異なり、作業者の実績を含め、製造装置、生産設備、ワークなどの幅広い情報と連携させています。

生産工程の過程から発生する情報源から生の情報を吸い上げ、現場に潜む様々なロスの発生を感知し、最適な指示を現場管理者に分かりやすい形でフィードバックしていきます。収集されたデータに基づいて的確で素早い対策を講じる事が可能となり、生産効率や歩留りの向上に繋がっています。

また、POP端末で集積された正確かつ新鮮な現場情報が、工程管理、品質管理、稼働管理、保安全管理、原価管理などの元データとして活用され、製造現場全体での導入効果が満たされています。

このように、POPシステムの応用範囲は広く、近年においてもその導入ニーズと期待は確実に増えてきています。

特に、多品種少量生産化が進んだ現場では、生産工程の状況分析ができなままにしておく確実に生産効率や品質が落ちていきます。これを未然に防

ぐためには、生産現場の情報を適時に収集し、そのデータを基にして改善活動を推進していく必要があります。

顧客要求に従って柔軟に生産計画を変更するためにも、現場の進捗状況をより正確に把握できる仕組みが不可欠になってきています。

安全安心が最優先の現場では、製品トレーサビリティ(追跡性)が重要視されています。確実なトレーサビリティを実現するためには当然製造履歴を残しておく必要があり、POPシステムが最適で有効な仕組みであることから、現場の再評価が起きています。

POP端末の役割

POPシステムで最も重要なことは、現場の情報を正確かつ効率良く集めることです。

それには、自動で情報を収集できることが理想であり、例えば、加工機の制御装置をネットワークに接続して刻々と変化する装置情報を転送すれば、管理サーバでリアルタイムに加工情報の管理が出来ます。さらに、各種のセンサーと連動することで、材料の投入個数や装置の動作回数などの情報までトレーサビリティ情報として紐付けることが可能です。

POP端末の形状は、パソコンやPDAを経てタブレットに進化してきています。しかし、パソコンやタブレットで処理さ



近日発売!

NFC対応タッチパネル端末 MTR-230/MTR-230N

Windows Embedded CE 6.0 R3を採用したコンパクトで使いやすい多機能タッチパネル端末。NFC IP-2対応リーダライター一体型端末(MTR-230N)としてもご利用いただけます。その他用途に応じて各種オプション選択が可能です(OSはLinuxも選択可能)。堅牢設計のスチールボディに産業用途の豊富なインターフェースを備えています。



NFC IP-2対応リーダライター(ICU-800)を取り付け可能です(MTR-230N)。一体型として場所をとらない運用が可能です。

れる情報には限りがあります。

十分に生産情報の効果を得るためには、前述の通り、製造装置や設備、センサーなどからの生産付帯情報とも組み合わせ、各装置との自動化で情報連携を充実させるための様々なインターフェースが必要となります。その上、現場で使用する端末は設置場所を取らず、作業者の生産性を妨げない操作性が考慮されなければなりません。

結局、パソコンやPDA、タブレットではPOP端末としての要求事項は満たされず、現場用端末として開発されたPOP端末の需要が再び見直され、その期待が高まってきています。

多機能 POP 端末 MTR-230

6月に当社よりリリースされるMTR-230は、POPシステムの現場情報端末として必要とされる機能が数多く採用されており、作業スペースの少ない作業現場を配慮した形状に設計されています。

ディスプレイには視認性と操作性を考慮したTFT7インチタッチパネル、OSにはソフト資産の流用が容易なWindows Embedded CE 6.0とLinuxの選択が可能です。

何より魅力的な特長は豊富なインターフェースで、USB×2、RS-232C×1、RS-485×1、DIO各3点、LAN、無線LAN(a/b/g/n対応)、microSDを標準搭載しています。

また、卓上にてそのまま設置できる独立タイプで、DINレールへの取付けも可能です。

オプションのNFC対応RFIDリーダが可能です。ライタとのドッキングが可能で、従業員製品についての詳細は、お気軽に当ICカードなどと連携したシステムの構築 社営業担当までご連絡ください。

タッチパネル多機能POP端末 MTR-230/MTR-230N



無線LAN 標準搭載
2.4GHz/5GHz
IEEE802.11a/b/g/n



インターフェース:USB×2、
RS-232C×1、RS-485×1、DIO各3点、
LAN、無線LAN(a/b/g/n対応)



DIN規格レールに対応。
壁面や制御盤内にワンタッチ
で取り付け可能。

仕様

CPU	Freescalar i.MX515(800MHz)
メモリ	512MB
内蔵ストレージ	4GB
LCD	7インチワイド(800×480ドット)、LEDバックライト
タッチパネル	アナログ抵抗膜4線式
サウンド	モノラルスピーカ、LINE OUT
有線LAN	10BASE-T/100BASE-TX × 1
無線LAN	IEEE802.11a/b/g/n
USB	USB1.1/2.0 × 2
外部インターフェース	RS-232C × 1, RS-485 × 1, DIO(入出力各3点)
電源	ACアダプタ(AC100V,50/60Hz)
microSDスロット	1スロット

*製品の形状、仕様は予告無く変更されることがございますのでご了承ください。

第23回自動認識基本技術者資格認定講習・試験(東京)のご案内

自動認識総合メーカーとして、RFIDや二次元コードの活用ソリューションを提供する当社では、社員の専門知識向上の一環として「自動認識基本技術者資格」を推奨しております。

自動認識技術に関する基本的な知識が習得できるこの講習は、当社のような専門業者に限らず、自動認識システムを利用しているユーザー様、自動認識システムの導入を検討されている方々にとっても、同技術をより理解し、効果的に活用する上で受講の価値があるものです。

ご興味のある方、この機会に挑戦されてはいかがでしょうか?

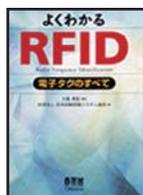
◆第23回自動認識基本技術者資格認定講習・試験(東京)

◎資格認定団体:社団法人 日本自動認識システム協会

◎実施日:7月18日(金)・19日(土)

詳細は下記URLにてご確認ください。

<http://jaisa.jp/license/basic/index.html>



試験のテキストに利用される書籍です。(受講料に含まれます)

展示会出品のお知らせ



会期:2014年7月16日(水)~18日(金) 10:00~17:00
会場:東京ビッグサイト 東展示棟/会議棟 当社ブース番号:F-66
当社ブースでは、健診ステーションを中心に自動認識装置をご案内する予定です。健診ステーションはリライトICカードを使用した健診・人間ドック向けデータ収集システムです。
計測データを自動でICカードに取り込むため、転記ミスや受診漏れがなく、人海戦術に頼ったデータチェックを解消します。

次号予告

2014年 7月号は・・・

『いろいろ使えるGS1標準データキャリア』です。

Flags 7月号は 7月 9日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags/フラグス

2014年6月号 Vol.109 2014年6月9日発行

編集・発行 株式会社マーストーンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
名古屋営業所	Tel:052(565)9091	Fax:052(565)9094
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556

40th
Mars 40th Anniversary

MTS 株式会社マーストーンソリューション

<http://www.mars-tohken.co.jp>